

研究種別		
研究課題名	乳用若齢牛のパフォーマンスを発揮させる哺育・育成管理技術の開発	
研究期間	令和3年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.8
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.0
	総合評点	4.0
[評価所見]		
<p>乳用牛において育成仔牛の飼養管理は、その後の健全性や乳生産に大きく関係するにもかかわらず、研究が十分におこなわれていない状況。</p> <p>早期離乳や高栄養哺育による分娩月齢の短縮は、見かけ上、生産性向上に繋がるようにも思われるが、代謝性疾患等で早期に廃用になるなど、生涯生産性で捉えるとマイナスになる場合も多い。</p> <p>本研究計画で示されている通り、育成期にしっかりとした反すう胃を育てることが重要で、そのためには過度なタンパク質給与を止め、粗飼料をしっかりと給与することが大切。また、個体が持つ能力(成長や泌乳等)を最大限引き出すのではなく、ある程度抑えながら平準化を図ることが、結果としてウシの健全性を保ち、生涯生産性を高めることに繋がると考える。</p> <p>本研究は、そうした観点から計画されており、生産性向上に加えてアニマルウェルフェアにも配慮した飼養管理技術の確立にも繋がると期待される。この技術は、県内の酪農家にとって有益な技術になる。</p>		

研究種別		
研究課題名	ビニールハウスの快適性に配慮した肉豚生産技術の開発	
研究期間	令和3年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究の必要性	4.4
2	研究内容の新規性	3.8
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.0
	総合評点	4.0
[評価所見]		
<p>気候温暖化の影響により、豚の生産性が夏期に低下することが明らかになっている。山梨県の中でも甲府盆地は暑熱の影響が強く表れる地域なので、こうした対策を進めることは、養豚農家のみならず、畜産農家全体に重要である。</p> <p>今回取り組むビニールハウス豚舎における夏場の快適性の確保は、山梨県内のみならず、全国的な暑熱対策のモデルになると考えられ、山梨県発の技術普及が期待される。加えて、アニマルウェルフェアへの配慮にも繋がる。</p> <p>一方、家畜に対する暑熱対策は、畜舎内環境の改善だけでは十分でないことが予想される。本課題では2年間かけて畜舎内の防暑対策を実施することになっている。防霜シート、湛水チューブ+メッシュカーテンなどの効果が明らかになれば、次に栄養管理との併用が必要。この点を考慮して頂きたい。</p>		

研究種別		
研究課題名	消費者に好まれる鶏ムネ肉生産技術の開発	
研究期間	令和3年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.8
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.8
	総合評点	3.9
[評価所見]		
<p>背景とねらいに書かれているように、日本ではムネ肉よりもモモ肉が好まれることから、より消費者嗜好にあったムネ肉を生産しようとする本課題は、県内での鶏肉消費拡大にも繋がることから重要と考える。</p> <p>脂肪蓄積が少ない鶏肉は、肉中の保水性が高いという知見に基づいており、生育期間中の総タンパク質給与量は変えずに、成長ステージに応じてタンパク質含量の異なる飼料を給与する精密栄養管理により脂肪蓄積を抑えようとする試みは、技術として確立できる可能性が高いと思われる。</p> <p>生産された鶏肉の評価はとして、ムネ肉の理学特性を測定することになっているが、本研究課題の目的である消費者に好まれるかどうかは、最終的に消費者型官能検査を実施する必要がある、最終年度に取り組まれることを期待する。</p>		

研究種別	成長戦略課題	
研究課題名	ブロイラーにおける暑熱時の生産性低下防止技術の開発	
研究期間	令和3年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究の必要性	4.6
2	研究内容の新規性	4.8
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.8
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.5
	総合評点	4.7
[評価所見]		
<p>家畜・家禽の生産性が夏期に低下することが明らかになり、様々な対応策が考えられている。本課題は既存の対応策をさらに一歩進め、ファインバブル水を活用するなど、より効果的な手法開発を目指している点が評価できる。</p> <p>畜産現場においてもファインバブル水に対する関心は高く、これを飲水に使った時のブロイラーの日増体量の向上、施設に使用する場合には殺菌作用など、多くの効果が報告されている。山梨県畜産酪農技術センターでは、以前からファインバブル水の利活用に取り組んでいることから、暑熱対策を含めて研究を進め、科学的根拠のあるデータを蓄積して頂きたい。</p>		